

北アルプス中部縦走山行報告書

M4 田中李樹

○日程

2015年9月19日(土)～9月23日(水)

○参加者(敬称略3名)

M4 田中 M3 伊賀上 M0 上村

○行程

9月19日(土)

折立 10:00～14:00 太郎平小屋～14:10 薬師峠キャンプ場～16:00 薬師岳～18:00 薬師峠キャンプ場

9月20日(日)

薬師峠キャンプ場 5:50～7:30 薬師沢小屋～11:00 雲ノ平キャンプ場 13:00～14:00 高天原峠～15:00 高天原温泉 16:00～17:30 雲ノ平キャンプ場

9月21日(月)

雲ノ平キャンプ場 6:00～7:30 ワリモ北分岐～8:30 水晶岳～9:30 ワリモ北分岐～10:30 鷲羽岳～11:30 三俣蓮華キャンプ場～13:30 黒部五郎キャンプ場 14:00～15:30 黒部五郎岳～17:00 黒部五郎キャンプ場

9月22日(火)

黒部五郎キャンプ場 6:00～7:30 三俣蓮華岳～9:00 双六岳～9:30 双六キャンプ場 10:30 弓折岳～11:00 大ノマ乗越～12:00 秩父平～13:30 抜戸岳～14:30 笠ヶ岳山荘

9月23日(水)

笠ヶ岳キャンプ場 6:30～7:00 抜戸岳～7:30 杓子平～10:30 中崎橋～11:00 新穂高温泉

○本文

5連休ということで、普段の週末にはなかなか行くことのできない雲ノ平やその周りの百名山



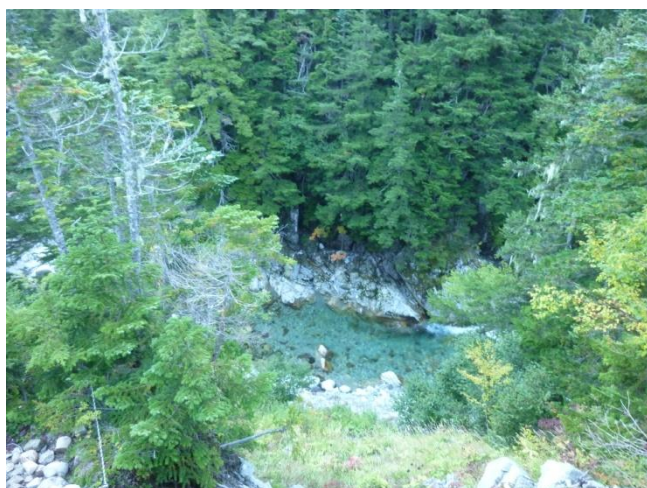
を巡る計画を立てた。

19日の朝富山駅に集合し、10時に折立着。少々雨が降っていたが午後にはあがるだろうと期待し登山開始。折立

からの登りは、高低差が小さく途中の道も視界が開けて快適な登山だった。予定より随分早く薬師峠キャンプ場に到着した。キャンプ場は既にいっぱい、テントを張る場所を確保するのに少々苦労した。通路沿いに何とか場所を確保してテント設営。天気は良くなっていて三人とも充分体力が残っていたため、そのまま薬師岳を往復することに。途中で見た薬師岳東南稜の白い山肌が美しかった。山頂からは見事な雲海に浮かぶ山々が印象的。遠く立山や白馬まで望むことが出来た。日が暮れる前に薬師峠に戻りこの日の行程は終了。



二日目は雲ノ平を目指し、薬師沢へ下る。木道や吊り橋が良い雰囲気。薬師沢の流れは日に照らされて緑色に見えた。ここからは少々ハードな登り。一時間ほどで登り切ると、



憧れの雲ノ平が広がっていた。アラスカ庭園、ギリシャ庭園といつまでもいなくなるようなのどかな景観が続く。祖母岳にも登り 30 分ほどまったりした。快晴の下、ベンチで寝そべっていたら随分日焼けした気がする。雲ノ平山荘には 11 時頃到着。予定ではこのまま高天原山荘に移動し小屋泊ということにしていたが、前日の薬師峠や太郎平の混雑を見て、このままテント泊

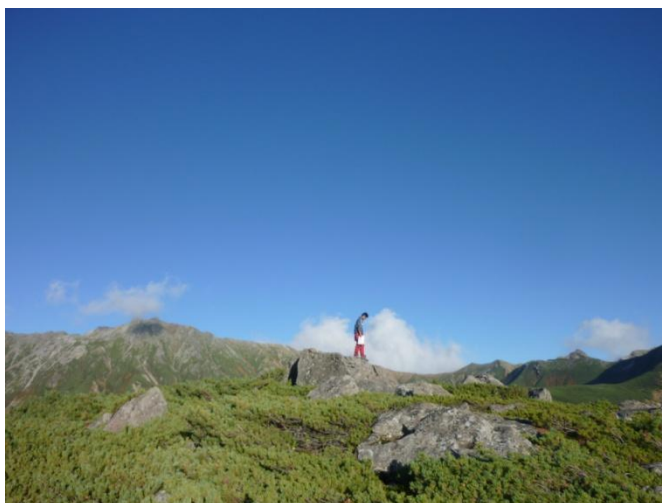


とすることに。雲ノ平キャンプ場にテントを設営。私と上村は 13 時頃から高天原をピストンすることにした。高天原までの下りはなかなかハードで、ここを登ることを考えると気が重かったが、日本一アクセスの悪い温泉を目指し、先を急ぐ。あまり期待していなかったが、高天原は雲ノ平に劣らずのどかで美しい場所だった。紅葉も見事。ビールを買いに高天

原山荘に寄ったところ、この日は一畳 3 人の予定とのこと。やはりテント泊にして良かった。戻るのが面倒だけど。温泉は混雑しているかと思いきや、そうでもない。湯の花がたくさん浮かぶ良い湯だった。外は熱くも寒くもなく気持ちが良い。それにしても誰がこんな温泉を見つけたのか。不思議だ。十分に湯を楽しんだ後、雲ノ平に引き返す。思ったほど登りはきつくなく、17 時頃には雲ノ平に着いてしまった。それからまた暫く雲ノ平の景色を眺め、二日目終了。



三日目はまず祖父岳に。意外と遠かった。地図を見ると 2825m と



あり納得。この日も引き続き快晴で、頗る良い眺め。5 日間の山行なので、半分は曇りか雨だろうと思っていたが、このへんになるとあまりに好天に恵まれ続けるので余程自分の日ごろの行いが良いのかと考えてしまった。しかし、悲しいことに最近積んだ功德を思いだそうとしても何も出てこない。どうやら私ではなく一緒に連れている後輩二人のどちらかが、菩薩のような毎日を送っているようだ。その後

ワリモ北分岐に荷物をデポし、水晶岳へ。山頂は非常に狭かったが、なんとか場所を確保

しのんびり景色を楽しんだ。頑張って山座を同定していると、横にいたおじさんが見事に全て解説してくれた。時々現れる山の事なら何でも知っている感じのおじさんだった。ここから見る鹿島槍はカッコいい。荷物を回収して今度は鷲羽岳へ向かう。山頂直下の登りがきつかった。こちらからは槍穂高が良く見える。山頂から少し下ると、鷲羽池が見えた。思っていたよりも随分大きな池。下りるのは面倒だったので写真を撮って三俣山荘に向かった。三俣山荘はきれいな小屋で、非常に多くの人でにぎわっていた。



祖父岳より槍穂。この日も良い天気。



鷲羽岳山頂。



左奥に富士山が見えるような。



鷲羽池。



水晶岳山頂。



三俣山荘。



三俣山荘から三俣蓮華を巻き、13時すぎに黒部五郎キャンプ場に到着。これでこの日は終了のはずだったが、ここまでコースタイムの半分から3分の2くらいのペースで進んでいて、時間が充分あるので黒部五郎をピストンしてしまうことにした。黒部五郎まではなだらかな道のり。五郎のカールが見事。あまり期待してい

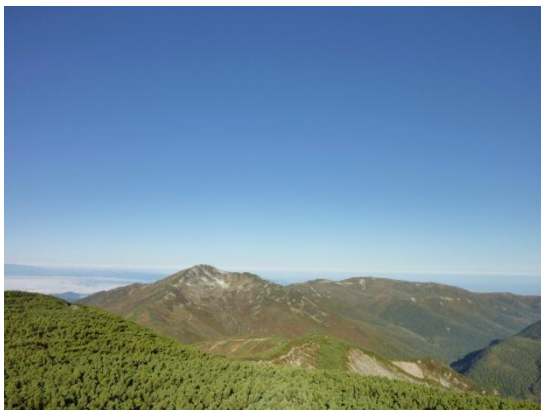
なかったが、紅葉も見ごろで素晴らしい。山頂で少しガスが出てしまったが、カールをきれいに見下ろすことが出来た。同じ道を下山し17時頃キャンプ場に。1日で百名山を3座踏むことの出来る場所はここくらいではないだろうか。ちょっと得した気分で眠りにつく。

四日目は寒さで目が覚めた。見事にテントが凍っている。朝食を済ませ外に出ると、雲一つない快晴。有り難いのだが、明け方は曇っている



くらいの方があったかくて良いかも。震えながらテントを撤収して、三俣蓮華を目指す。三俣蓮華も非常に優雅な山体で素敵。山頂からはここまで辿ってきたルートを見て見渡すことが出来た。雲ノ平の独特な地形が印象的。この日の目的地である笠ヶ岳はかなり遠く見えた。前日に黒部五郎を往復してしまい行程に余裕があるので、30分ほどのんびりして北アルプス中部に別れを告げる。双六岳山頂を経由して双六小屋に下りる。以前泊まった時飲んだあつかんが美味しかったな。ここから笠ヶ岳へ向かう。少々疲れていたせいもあるが、笠ヶ岳までの道のりは非常に長かった。コースタイムを多少巻くくらいのペースで、ゆっくり進む。この稜線はいくつかあるピークを越える度に表情を変え面白い。左手に見える槍穂高の眺めも良かった。大ノマ岳で休憩しようとする、高尾山に似そうな派手目なカップルがいた。別に良いのだけど。なんでよりによってこんな渋い山を選んだのかなと気になってインタビューしてみたかったが、二人の世界を邪魔しないことにした。笠ヶ岳には14時半頃到着した。暇なので、山頂をピストンしたり、山荘でビールを飲んだりし

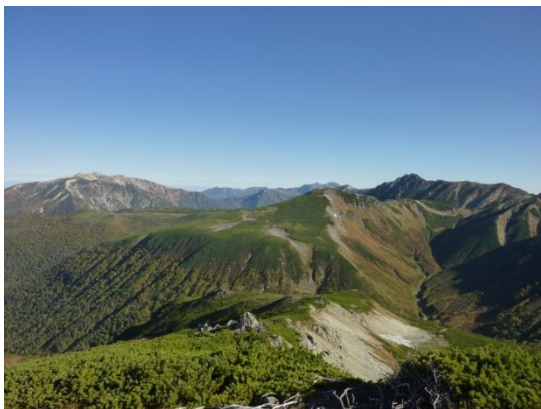
て過ごした。ここの山荘はとてもきれいで是非山荘泊でまた来たいと思った。売店の値段も良心的。ウイスキーの小瓶が 800 円だったので買って帰ってテントで飲むことに。山で飲むサントリーRED は下界で飲む山崎の 100 倍くらい美味しいと思う。食事の後ウイスキー小瓶 1 本と日本酒小瓶 2 本を追加して、幸せな就寝。



黒部五郎さん。



変な岩。



雲ノ平。



抜戸岳から望む笠ヶ岳。



今日も快晴。



ブロッケン？

ついに最終日。このテント場は標高が高いので、寒くなることを覚悟していたが、そうでもなくて助かった。食事を済ませ 6 時の日の出を目指して山頂に向かう。雲海に浮かぶ



山々は本当に美しく、寒さを忘れるほどだった。景色を満喫していざ下山。笠新道は長いと覚悟していたが、意外とあっさり下りてしまった。5日ぶりの下界で温泉につかり、東京に戻った。



笠ヶ岳の影。



笠ヶ岳山頂にて。

5日間を通じて天候に恵まれた。まだ少し早いと思っていたが、雲ノ平や高天原、五郎のカールでは紅葉も楽しむことが出来た。記憶に残る山行になったと思う。